



8月 (まごんたうり)

本格的暑さが到来して、度々30度超え、夜もさかさま
気温が下がらない毎日です。そんな中でも子ども達は、元気に
外遊びやプール遊びを楽しんでいます。園での生活を楽しんで
もうれしそうに、水分補給を十分に行い、熱中症にならないよう心
気を付けています。夏の病気にも気を付けていただきたいと思います。
夏本番となり、エアコンが必要となってきた頃。園では、朝たくさん
汗をかいて汗腺を発達させるアクリル組んでいます。一日中エア
コンの中で過ごすと体が冷えてしまします。エアコンの温度を下げ
すぎず、熱中症に気をつけながら、汗をかくことの大切さをしっかり
身につけましょう。



8月7日は
鼻の日

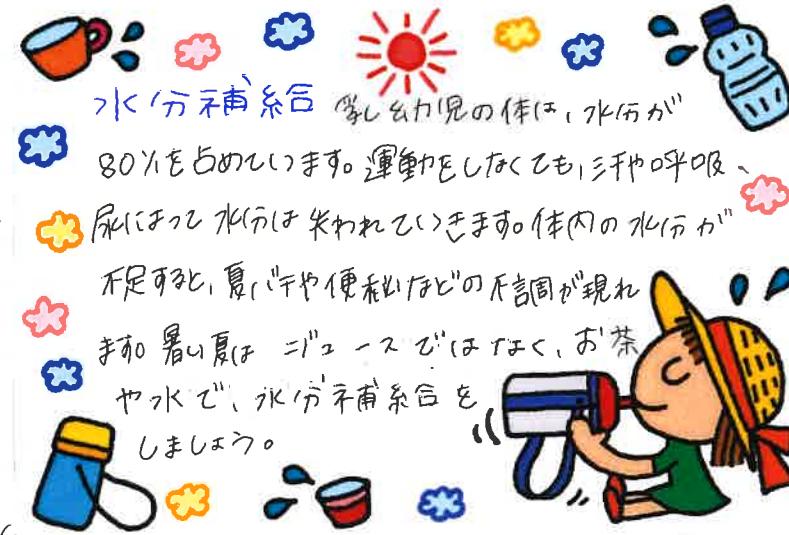
鼻にはおいくさぐだけではなく、いろんな
働きをします。

★呼吸をする… 鼻の中に入った空気は温められ、鼻毛
で汚れをきれいにしてから肺に送られます。

★においをかぐ… においをかいで危険から身を守ります。
★声の音色を出す… 鼻がすっきり通っていると、声がキレイ
になります。

体内の水分量について
人の体は7割近くが水分です。

乳幼児はさらにその割合
が増え生まれたばかりの
赤ちゃんと大人と比較して
(にあります)水分を失われる
水分量も多いこまめな水
分補給が必要になります。



水分補給 奴い幼児の体は、水分が

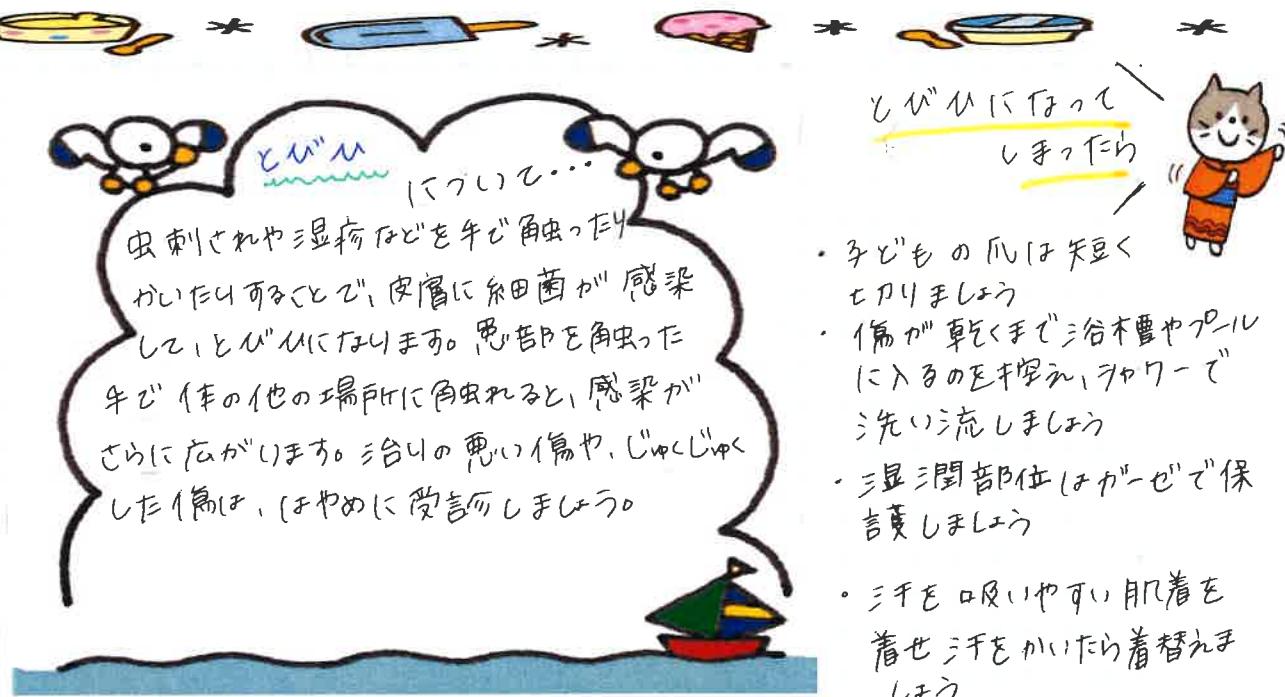
80%を占めています。運動をしても汗や呼吸、

尿における水分は失われてしまうので体内的水分が

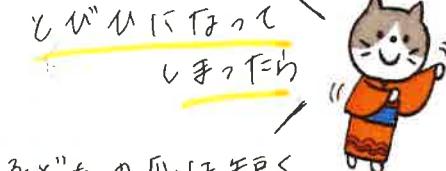
不足すると、夏の汗や便失禁などの不調が現れ

また暑い夏はニーステップではなく、お茶

や水で、水分補給をしましょう。



じびくについて…
虫刺されや湿疹などを手で触った
かいたりすると、皮膚に細菌が感染
してじびくになります。患部を触った
手で他の場所に触れると、感染が
さらに広がります。台の悪い傷や、じゆじゆ
した傷は、(やめに皮膚をしましょう)。



- 子どもの爪は短く切る
- 傷が乾くまで沐浴やプール
に入るのを控え、シャワーで洗い流しましょう
- 湿潤部位はガーゼで保護しましょう

- 汗を吸いやすい肌着を
着せ汗をかいたら着替えましょう



熱中症に注意しましょう!



子どもは体温調節が上手ではなく、温度変化の
影響を受けやすいため熱中症に注意しましょう。

一予防ポイント一

○日中は帽子をかぶって外出しましょう

○ベビーカー(日よけ)返して暑くなるので先豆時間の使用に
しましょう。